

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年08月26日

計画の名称	伊勢崎市における快適な生活環境の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	伊勢崎市												
計画の目標	・下水道管の整備を推進することにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,370	A	2,370	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	・下水道処理人口普及率を34%（平成30年度当初）から36%（平成34年度末）に向上させる。 下水道処理人口普及率（%） = 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	34%	35%	36%
2	・バイオガス発電電力量を228kWh/年（平成30年度当初）から525.0kWh/年（平成34年度末）に増加させる。 バイオガス発電電力量（kWh/年）	228kWh/年	525kWh/年	525kWh/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	管渠(汚水)	新設	伊勢崎処理区(A1-1)	200mm L=6,500m	伊勢崎市						491	-	
	A07-002	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	管渠(汚水)	新設	赤堀処理分区(A1-2)	200mm L=750m	伊勢崎市							58	-
	A07-003	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	管渠(汚水)	新設	東処理分区(A1-3)	200~250mm L=5,900m	伊勢崎市							451	-
A07-004	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	管渠(汚水)	新設	境処理分区(A1-4)	200mm L=2,800m	伊勢崎市							217	-	
A07-005	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	管渠(汚水)	新設	伊勢崎処理分区(A1-5)	200~250mm L=13,500m	伊勢崎市							1,018	-	
A07-006	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	終末処理場	新設	伊勢崎浄化センター(消化ガス利用施設)(A1-6)	バイオガス発電設備	伊勢崎市							135	-	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

伊勢崎市上下水道局下水道整備課が担当となって事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和6年度

公表の方法

市のホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道管の効率的な整備により、生活環境改善の推進や汚濁負荷量削減による公共用水域の水質保全に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

次期計画においても下水道処理人口普及率のさらなる向上のため、引き続き下水道整備に取り組んでいく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	36%
	最終実績値	36%
2	発電電力量	
	最終目標値	525千kWh/年
	最終実績値	806千kWh/年
		バイオマス発電設備の導入と併せて、加温ボイラーを更新したため加温に必要なガス供給が不要になり、発電に供給できるガス量が増加したため。

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年08月26日

計画の名称	伊勢崎市における安心・安全な水環境の整備（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	伊勢崎市												
計画の目標	・市街地の浸水被害を防止・軽減するため、雨水幹線などの整備を推進することにより、快適で安全な生活環境の実現を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,068	A	1,068	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	・下水道における都市浸水対策の達成率を22%（平成30年度当初）から22%（平成34年度末）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率（%） =概ね5～10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha） / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha） 面積A=3,558.2ha	22%	22%	22%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

伊勢崎市上下水道局下水道整備課が担当となって事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和6年度

公表の方法

市のホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

雨水管渠やポンプゲートの整備を行い、整備優先区域の浸水被害を軽減した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

次期計画においても浸水被害の軽減を実現するため、引き続き雨水管渠の整備に取り組んでいく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	都市浸水対策達成率	
	最終目標値	22%
	最終実績値	22%